



白聖

はくあ 第7号 令和8年7月1日発行



《オープンキャンパスに行こう》

オープンキャンパスは、大学などがその学校のことをよく知ってもらうために、生徒や保護者を対象にして開催する進学イベントのことです。キャンパス内の施設・設備を開放して、学校紹介や模擬授業、個別進学相談会などが行われます。学校の情報は、学校案内のパンフレットやホームページでも得ることができますが、実際に足を運んでみると、文字や写真だけではわからない多くのことを知ることができます。オープンキャンパスに参加することによって、志望校や志望学部を変更する人もいます。入学してから後悔しないためにも、事前にキャンパスの雰囲気を知っておくことは大切です。

【オープンキャンパスの開催時期】

オープンキャンパスは、基本的には **7～8月の夏休みを中心に行われます**。難関校は、一部の大学を除き、夏休みの8月前半開催がほとんどです。それ以外の多くの大学はさらに複数回実施しています。秋に開催されるオープンキャンパスもありますが、学園祭や文化祭などと並行して行われることが多く、イベント時の大学の雰囲気を知ることができます。夏休み以外に開催される場合は、土日開催が多いため、学校を休むことなく参加することが可能です。

【オープンキャンパスのメリット】

○志望校の生の空気が感じられる

オープンキャンパスには、志望校の生の空気が感じられるというメリットがあります。実際に足を運ぶことによって、大学の雰囲気など自分の目で見て確かめることができます。図書館や研究室、学生食堂などの生活空間を訪れて在学生の様子を確認しましょう。学校案内のパンフレットやホームページで受ける印象と、実際に大学に行ったときに受ける印象に違いを感じることは少なくありません。可能であれば、複数の大学に行って、各大学の雰囲気やさまざまな情報を比較してみるのも良いでしょう。比較することで、第一志望校を見つけていくこともできます。また、オープンキャンパスで一度学校まで行って見ることで、具体的に通学するイメージもつきやすくなるため、入学後のミスマッチの予防にもなります。注意したいのは、キャンパスが複数分かれている大学です。自分が行きたい学部のあるキャンパスに行かないと、十分な情報が得られません。間違っ

○入学後について知ることができる

授業内容や学生生活、就職・進学状況など、気になる事柄について詳しく知ることができます。大学によっては、模擬講義が受けられるところもあります。実際に進学した場合と同じ大学レベルの授業を体験できるので、入学後の自分の姿をリアルに想像できます。「思っていた学問内容と違う」「逆にすごく面白かった」と気づけるので、ミスマッチを減らすこともできます。さらに、受験勉強のモチベーションアップにもなるため、大きなメリットといえるでしょう。また、授業内容だけでなく、在学中に取得できる資格や就職先や進学先についても知ることができます。

○入試情報が得られる

オープンキャンパスは、入試の詳しい情報を確かめる最高の機会です。入試説明会はもちろん、入試対策講座や、個別相談会、在生による受験体験談が聞ける催しなどが開かれている場合もあるので事前に確認しておくとう良いでしょう。大学によっては、過去問題集の配布が行われることがあります。質問できる機会もありますので、気になることはどんどん聞いていきましょう。入試のこと、授業の忙しさ、アルバイトやサークルとの両立など、実際の生活についてリアルな話を聞くことで不安をかなり減らせます。また、オープンキャンパスへの参加経験が、後の総合型選抜や学校推薦型選抜入試の面接時に役に立つ場合もあります。興味がある学校のオープンキャンパスには早めに参加しておいたほうが良いでしょう。



【オープンキャンパスは誰と行くべき？】

オープンキャンパスに行きたいものの、知らない地域に一人で行くのは気後れする人も多いと思います。ほとんどの大学のオープンキャンパスは友達や保護者と一緒に参加できます。誰と行ったほうが良いのか、それぞれのメリットとデメリットがありますので解説していきます。

【裏面に続く】

○友達と一緒に行く

同じ受験生の友達と一緒になら、リラックスしてオープンキャンパスに参加できます。特に、同じ大学への進学を希望している友達に参加すれば、意見を交換しながらさまざまな視点で評価でき、大学選びの参考になるでしょう。友達と一緒になら在校生とも話しやすく、研究室やサークル見学でも緊張せずに済むメリットもあります。しかし、友達と一緒にだとお互いに都合を合わせての行動になるため、キャンパス内で自由に動きにくいデメリットがあります。また、友達と一緒ににはしゃぎすぎて確認不十分なまま見学が終わってしまうこともよくあるので、目的意識をもって参加することを心掛けてください。

○保護者と一緒に行く

保護者と一緒にオープンキャンパスに参加すると、保護者の客観的な意見が聞けるメリットがあります。高校生にとっては、卒業後の就職実績や学校の就職サポートについてまだ想像がつきづらい部分もあり、自分自身で判断することが難しい場合もあります。そんな時に、人生経験を積んだ大人視点での意見は重要です。保護者としても学費や子どもが過ごすキャンパスは気になるので、事前に確認できると安心して受験をサポートできるようになります。しかし、保護者と一緒に参加すると、保護者が進学先を決める流れになりやすいため注意が必要です。自分の目で見て判断し、自分の意志で学びたい大学を選びましょう。

○自分一人で行く

オープンキャンパスに一人で参加する場合は、自分のペースで大学を見学できるメリットがあります。見ておきたい施設や参加したい模擬授業が具体的に決まっているなら、一人で行動するのもおすすめです。一人だからこそ自分で疑問点を質問しやすく、同行者の都合を考慮しなくても良いので真剣に進路を考える時間にできます。一人での参加は気後れしがちですが、オープンキャンパスでの出会いがきっかけで新しい友達ができることもあります。受験生同士の交流でモチベーションがあがるため、ぜひチャレンジしてください。しかし、一人で参加すると、困ったときに頼る人がいないことや、第三者の客観的な意見が聞けないデメリットもあります。自分が見た印象だけの判断になりがちなので、オープンキャンパスの結果を先生や保護者に相談してアドバイスを求めると良いでしょう。

オープンキャンパスは、進路を決めるためにぜひ参加しておきたいイベントです。ホームページや学校案内からもその大学の特徴を知ることができますが、可能であれば実際に足を運び、自分の目で見て確かめることでより多くの

情報を得ることができます。大学側としても、入学希望者に施設・設備やカリキュラム、キャンパスの雰囲気などを知ってもらうことにより、ミスマッチを減らせるため積極的にオープンキャンパスを開催しています。多くの情報を集めて自分に合った大学を見つけてください。

【進路ナビ 高校生のための進路サイトより引用・抜粋】

『3 学年生徒対象進路講演会』

6月18日（水）のHR活動の時間に、3年生全員を対象に「3 学年進路講演会」を開催しました。この講演会は、進路選択と進路志望達成に向けて3年生の意識を高めさせ、今後の高校生活が充実したものになることを目的として進路指導部が企画しているものです。講師に千葉工業大学入試広報部特任入試アドバイザーの吉田直史先生をお迎えし、「折れない心！～全ては貴方のホンキ次第！～」をテーマに講演していただきました。吉田先生には、高校総体が終わって部活動を引退した時期に合わせて、令和4年度から毎年3年生向けの進路講演会を依頼しています。吉田先生は、大手予備校に長年勤められた経験をもとに、昨今の大学入試の現状や模擬試験の結果分析の仕方、授業第一とした勉強の大切さや、現役生の成績は試験当日まで大きく伸びることを熱っぽく解説していただきました。総合型選抜や学校推薦型選抜の準備も始まる時期の進路講演会は、3年生にとって大きな刺激となるとともに、志望校合格へ向けて最後まで粘り強く頑張り続ける決意を新たにす絶好の機会になったようで、やる気を漲らせていました。

